

症例 1805TY

30歳代 女性

臨床経過：

以前より甲状腺左葉に腫瘤を指摘されていた。経過で右葉に結節を指摘、精査で乳頭癌と診断され右葉切除された。その後、左葉腫瘤の増大を認め、残存甲状腺を全摘され、左葉腫瘤は術後病理にて濾胞癌と診断された。

甲状腺全摘 2 か月後の CT で気管左側に結節を指摘、細胞診陰性であり経過観察となった。

その後、気管左側結節は増大し、FDG-PET では集積を認めた。さらに気管右側にも新規に結節を指摘された。